

情報モラルちょっと授業

～10分程度で指導する情報モラル～

対象学年	中学校1年生
------	--------

領域	学年集会
指導項目	スマートフォンの使いすぎに注意

情報モラル指導モデルカリキュラム (http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html)			
分野	安全への知恵		
コード	f4-1	指導事項	健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる。
指導のねらい	携帯・スマートフォン・インターネットなどの利用時の制限にルールがない家庭が多い。そのため、身体への影響を伝え、自分の使い方を振り返らせるとともに、家族との間で使用のルールを作り、適切な使い方ができるようにさせる。		

科目・活動との関連	身体への危険性を理解させるため、パワーポイントやワークシートを活用して自分自身の問題として考えることができる指導を行う。
利用教材(サイト等)	○ネット社会の歩き方 「29 ネット依存に注意」 (http://www.cec.or.jp/net-walk/flash/cec_29/index_c.html) 以上を参考にパワーポイント、ワークシートを作成

学習の過程(15分)	指導法	指導の留意点
<ul style="list-style-type: none"> 長時間使用による身体へ及ぼす危険性を知る ネット依存傾向チェックリストに回答し、各自のネット依存傾向を調べる 	<ul style="list-style-type: none"> パワーポイントのスライドを使用し、スマホやインターネットの長時間使用による身体へ及ぼす危険性を理解させる。 ※ スライドの内容は、長時間使用による身体への危険性や依存性の高さを紹介したもの ワークシートを使用し、各自のネット依存傾向をチェックする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身のこととして考えさせる。 依存傾向の得点分布は最後に伝える。

子どもの反応	<p>パワーポイントのアニメーション機能の活用で、動きのあるスライドを見せることにより、生徒の反応は大変よかった。</p> <p>生徒が、ネット依存傾向チェックリストに回答し、自分の状況を点数化することにより、依存傾向を知ることができた。中には、かなり長時間使っている生徒もおり、自分の生活を見直すきっかけとすることができたようである。</p>
実践の評価	<p>スライドとワークシートにより、スマートフォン等の使用による身体への影響や、ネット依存傾向を短時間で伝えることができた。年度初めや夏休み、冬休みなど長期休業の前に行うと効果的である。</p> <p>また、その後の保護者会等でスマートフォン等の利用状況について話題にすることができ、家庭で利用ルールなどを考えてもらうことにつなげることができた。</p>

利用教材について

○ネット社会の歩き方

「29 ネット依存に注意」(http://www.cec.or.jp/net-walk/flash/cec_29/index_c.html)

以上を参考に、自作のワークシートを作成、配布。また、プレゼンテーション用資料を作成し提示。

指導のポイント